

ちいと
もやもや

ジェンダー川柳コンテスト



「男は仕事、女は家庭」「女のくせに」「男のくせに」…。
こんな決めつけ、もう終わりにしませんか？
あなたが「ちいと」感じた「もやもや」が、
多くの人の共感や気づきになって、世の中を変えていきます。

コンテストの概要

お題 「男だから」「女だから」など性別による思い込みや決めつけで「もやもや」したこと

募集期間 令和5年9月14日(木)～10月15日(日)

応募総数 1,649句

審査員 上水流久彦(県立広島大学教授、審査員長)、犬山紙子(イラストエッセイスト)、
中島尚樹(タレント)、山田幸(日本放送作家協会 中国・四国支部監事)

賞 最優秀賞(1点)、優秀賞(2点)、審査員賞(2点) ※県民審査員が選んだ入賞作品30句
の中から、審査員の合議により決定

県民共感度No.1賞 ※入賞作品30句の中から、オンライン投票により決定



12月5日(火)、エソール広島で授賞式を行いました！

川柳コンテスト
の詳細について
はこちら





ジェンダー川柳コンテスト入賞作品

取り分けて 女の子だから 得意でしょ

一条みやこ

家事育児は
当事者

テント張り 男子汗だく 女子談笑

腕相撲無双女子

色眼鏡 押し付けられて 押し付けた

よもさん

「家族サービス」 死語だと部下に 諭される まだまだな上司

カップル割 同性だけど 使えます？

ガリレオ

知らんがな あんたの飯なぞ 知らんがな

冷えピタおでこに
ガタブル母さん

男なら 早く着替えろ 教室で

高橋是清

こっち見て 契約するのは 私なの

ミク

休むのは いつも母です パートです

白藤 多々良

「男並み」 男性上司に 褒められて

園えみり

私だけ 仕事と育児 ニ刀流

ホームオールラウンダー

保護者名 ママじゃダメなの 子に聞かれ

竹内照美

ご飯まだ？ 帰った時刻 同じだよ

奏来

参観日 旦那が行けば もうイクメン

共働き夫婦
(もやっと共存中)

育休を 取らない父親 いくじなし

育休取得推進委員

上を出せ 言われた私が 責任者

来華

「いいパパね」隣に「いいママ」いますけど

nino

ジジババよ 孫にらしさを 求めるな

さくら

ランドセル 「おれはピンク！」 悩む親

息子はカワイイモノ
が好きなんです

早帰宅 見送る上司の 子は3歳

きのこ

育児書の 主語はなぜか 「ママ」ばかり

ゆころ

「主人」から「夫」と呼び方 変えてみる

平野善

理系です 「女なのに？」は 余計です

進め理系女子

スママセン 看護師ですが 男です

橋本転児

身内には ゲイなどいない 祖母は言う

ペンペン草

デート代 論争論破 して一人

壊れた冷蔵庫

ジェンダーを 意識しすぎて 喋デンジャー

まー

「迎え要」 上司が阻む 「奥さんは？」

エンドウ

聞き飽きた 「女の子じゃけえ」この台詞

石田千里

ちいもやもた ジェンダー川柳 コンテスト



【最優秀賞】

ご飯まだ？
帰った時刻
同じだよ
奏来

作者 奏来さんのコメント

父と母は家に帰ってくる時刻が同じくらいなのに、母が夕食を作っています。父が母に「ご飯まだ？」と言うのを聞いて、もやもやしました。(10代、女性)

上水流審査員長のコメント

母親は夕食を作るのが当然、という家族間の性別による思い込みについて、子どもの視点で思いをストレートに表現しています。この作品を見て心が痛むお父さんは非常に多いと思いますが、実際、私が大学でジェンダーの話をする時、同じ疑問を抱く女子学生が多くいます。



【審査員長】
上水流 久彦
県立広島大学教授

ちと もやもや ジェンダー川柳 コンテスト



【優秀賞】

「手伝うよ」
じゃのおて一緒に
やりますじゃ
家事育児は当事者

作者 家事育児は当事者さんのコメント

我が家は夫も家事に協力的ですが、料理だけは「手伝う」と言います。洗車など主体的にやってほしい家事を夫に任せていて、お互い様の部分もあるので、もやもやを広島弁で表現してみました。
(30代、女性)

山田審査員のコメント

多くの方が一度は同じ思いを抱いたことのある、共感できる作品だと思います。怒っていながらどこか優しさやユーモアも感じさせる広島弁の使い方にセンスあります。



【審査員】
山田 幸
日本放送作家協会
中国・四国支部 監事

ちと
もやもや ジェンダー川柳 コンテスト



【優秀賞】

色眼鏡
押し付けられて
押し付けた
よもさん

作者 よもさんさんのコメント

過去に社会や周囲から刷り込まれていたジェンダーバイアスを、年齢を重ねて、今度は自分が押し付けていることに気づきました。偏見にとらわれていたのは私です。(70代、女性)

山田審査員のコメント

ご自身の過去を省みた謙虚な作品で、同じ世代を生きの方々なら特に共感できると思います。社会風刺を含む点も素晴らしく、今後も人生経験から導かれる川柳の創作を期待しています。



【審査員】
山田 幸
日本放送作家協会
中国・四国支部 監事

ちいともやもや ジェンダー川柳 コンテスト



【審査員賞】

理系です
「女なのになぜは
余計です
進め理系女子

作者 進め理系女子さんのコメント

進路を決める時に、周囲に言われてもやっとなりました。誰もが暮らしやすい社会になることを願い、私も身近なジェンダーの問題に気づき、考えていきたいと思います。(40代、女性)

中島審査員のコメント

進路相談を受けた方は、よかれと思って言ったのかもしれませんが。気遣ったはずの一言が、相手のもやもやにつながってしまうことが、韻を踏んでリズムカルに詠まれていました。



【審査員】
中島 尚樹
タレント

ちんともやもや ジェンダー川柳 コンテスト



【審査員賞】

早帰宅
見送る上司の
子は三歳
きのこのこ

作者 きのこのさんのコメント

「お子さんがまだ小さいから早く帰りな」と、自身も幼い子を持つ男性上司に言われて、もやもやしました。ジェンダー平等というと女性活躍がよく取り上げられますが、その裏で男性が我慢しないよう、本当にジェンダー平等な世の中にしたいですね。(40代、女性)

中島審査員のコメント

ご自身のもやもやを詠んだ作品が多い中、早く帰ることができない男性上司や、その夫を家で待つ妻にも心を寄せ、様々な立場の方を慮った優しさ溢れるところに惹かれました。



【審査員】
中島 尚樹
タレント

ちいもやもた ジェンダー川柳 コンテスト



【県民共感度

No.1賞】

ご飯まだ？
帰った時刻
同じだよ
奏来

作者 奏来さんのコメント

父と母は家に帰ってくる時刻が同じくらいなのに、母が夕食を作っています。父が母に「ご飯まだ？」と言うのを聞いて、もやもやしました。(10代、女性)

投票者の声

- 自分の家も似た状況で、女性だけが家事をする考えは良くないと思う(10代、男性)
- ご飯つくるのはお母さんというイメージは、自分自身にもあると感じた(30代、女性)
- ちゃんと見てくれている子どもがいるんだ！と、よき理解者を得たようでうれしい(40代、女性)
- 我が家のことかと思った。とても共感した。(50代女性)